

(諫早市上下水道局公営企業会計システム更新業務に係る公募型プロポーザル)

質問回答書

令和 7 年 1 0 月 1 7 日

諫早市上下水道事業管理者
上下水道局長 矢竹 秀孝

番号	質問	回答
17	■質問 1【機能要件確認書 - 項番 17】 専用用紙に合わせたカスタマイズが可能な場合には、機能要件確認書は「△ カスタマイズにより対応」と回答すると考えてよろしいでしょうか。 「◎ 標準対応可」と回答する場合には、標準費用の中で対応することによろしいでしょうか。	回答方法としては、お見込みのとおりです。なお、伝票や納付書、支払通知書について、専用用紙の使用は想定していません。
18	■質問 2【機能要件確認書 - 項番 56】 流用を受ける科目に対して、流用する科目を複数設定することが可能です。充当を受ける科目に対しては、予備費より充当するため、1対1となります。このような考え方でよろしいでしょうか。	お見込みのとおり。
19	■質問 3【機能要件確認書 - 項番 59】 所属ごとに予算執行する場合には、予算編成の所属と予算執行の所属は同じである必要があると考えます。所属ごとに予算執行しない運用であれば、予算要求及び査定を 1 所属にて会計全体で登録管理することを可能としております。このような運用を想定していると考えてよろしいでしょうか。	現在の運用では、予算執行所属と予算編成上の所属は同じになっています。本件は機構改革に伴う所属の統廃合の場合を想定しています。
20	■質問 4【機能要件確認書 - 項番 156】 WEB型システムで職員端末にプログラムをインストールすることなくプリンタより直接印刷することは困難と考えます。	機能要件の条件を満たすために、現行環境へのプログラムのインストール等設定変更が必要になる場合、提案事項として、提案書へ記載して

	「伝票の登録処理と同時に印刷する」とありますが、弊社システムでは、印刷と同時に PDF を出力しますが、標準対応と考えてよろしいでしょうか。もしくはプログラムインストールを許容いただけますでしょうか。	ください。PDF への出力は、印刷とみなしません。
21	■質問 5【機能要件確認書 - 項番 231】 法改正によりみなし償却制度は廃止しておりますが、法改正前に取得した資産を想定しているのでしょうか。	お見込みのとおり。
22	■質問 6【仕様書-7-(1)-イーデータセンター要件-】 「日本データセンター協会が制定するファシリティスタンダードの基準であるティア4（地震や火災など災害に対してデータ保全の安全性を保ち、かつ可用性も確保した非常に高いレベルでの耐災害性が確保されている。）と同等以上のサービスレベルを確保していること。」とありますが、弊社にて準備可能な環境はティア3となります。ティア3の提案は可能でしょうか。 ※他事業体様への LGWAN 導入実績も多数ございます。	仕様書に記載のとおり、ティア4で提案してください。
23	■質問 7【仕様書-スケジュール-】 令和8年10月1日から稼働とのことです。が予算編成システムや企業債システムをまずは本稼働とし会計システムについては令和9年度からの稼働ということではよろしいでしょうか。 （令和8年度の決算は現行システムで実行されるという想定で質問をしております）。 また、もしも令和8年度10月から会計システムも本稼働ということであれば、伝票データの移行は不要と考えてよろしいでしょうか。	令和8年10月1日からは、令和9年度予算編成に係る機能の本稼働を想定しており、その他の機能は令和9年4月1日からの本稼働を想定しています。 移行するデータの範囲については、仕様書の「9 移行要件」の「(4) データ移行範囲」に記載のとおり。